

## 平成20年度 川崎市わーくす大師の管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 電機神奈川福祉センター(横浜市磯子区新杉田8番7号)
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ～ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	①授産事業 ②福祉事業 ・障害者自立支援法に規定する就労移行支援業務 ・障害者自立支援法に規定する就労継続支援業務 ③施設運営業務

### 2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成20年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
①施設及び設備の維持 ・管理に関する業務	換気扇吹き出し窓の破損が複数箇所あり、見積り依頼中。 1階トイレの排水溝からの悪臭について、排水溝を発泡スチロール製のふたで塞ぎ応急処置を行っている。 <b>【委託業務の内容】</b> 清掃、警備、ダムウェーター管理、健康診断・医療アドバイス、廃棄物処理、給茶機保守、コンピュータネットワーク保守等	24年目を迎える施設であり、後も軽易修繕が必要な箇所が生ずると思われる。 そのため、効率的かつ効果的 管理に努めるとともに、不具合発生した場合には、早急に対すること。
②地域及び関係機関との連携への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内2ヶ所のハローワーク、就労援助センターと連携し、求職活動・トライアル雇用制度(5名活用)の利用を行った。</li> <li>・また、県商工労働・NPO法人障害者雇用部会による委託訓練(トライ)制度(3名)を活用し、就労移行支援を行った。</li> <li>・養護学校、他施設等の実習生を47名受け入れた(うち養護学校等在籍者27名)</li> <li>・関係機関との連携により離職者7名を受け入れた</li> <li>・本市の就労支援コーディネート会議に参画し、各種イベントの実施等就労支援ネットワークの推進に協力した。</li> </ul>	各専門機関と連携し、積極的 就労支援を実施しているほか、実習生の受入など地域交流もっていることは評価できる。 また、川崎市就労支援コー ネット会議等の企画・運営に参 画し、ネットワーク作りに大いに 貢献していることも評価できる。
③職員に対する研修等 資質の向上に対する取 り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日実施している職員ミーティングにおける情報共有とOJTによる確認による研修を基本とした。</li> <li>・月1回のテーマ別ミニ研修を実施した。</li> <li>・就労移行支援事業の初期スタート段階に提供する講習や利用者ミーティング内容の検討に時間を割いた。</li> <li>・川崎市発達相談支援センターと共同で、自主勉強会を隔月開催した。</li> </ul> <b>【主な研修等】</b> 「職員全体研修」 「川崎市初任者研修」 「サービス管理責任者研修」 「川崎市就労支援担当者人材育成研修」 「川崎市障害者雇用促進シンポジウム」 「川崎市精神障害者就労支援セミナー」 「JC-NET会議」 「自閉症カンファレンスNIPPON」 「県職業リハビリテーション研究会」 「障害者リーダー研修」	利用者の処遇向上のために 積極的に研修等を受講し、職員 質の向上に努めているほか、 の就労支援事業の視察を行い 逆に訪問・取材を受けるなど、 の高い運営を目指し、日々取 り組んでいることは評価できる。 また、発達障害など今後利用 増加が見込まれる分野にも積 極的に取り組んでいることは評価 できる。

	「障害者雇用部会雇用促進セミナー」																																																																																																									
④安全管理等への取り組み	<p>事故報告は0件であるが、事故防止対策として、毎日の点検・報告や職員ミーティングにおけるヒヤリハットの報告・記録を行っている。</p> <p>また、年2回の総合防災訓練を実施した。</p>	<p>職員体制の整備のほか、対応マニュアルの作成など適切に対応しているほか、第三者委員が入る苦情解決委員会にて報告を行う体制を整えていることは評価できる。</p>																																																																																																								
(2) 利用状況																																																																																																										
①利用状況について	<p><b>【就労移行支援事業】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>入所者数</th> <th>退所者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>37</td><td>11</td><td>1</td></tr> <tr><td>5月</td><td>36</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr><td>6月</td><td>33</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>7月</td><td>32</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>8月</td><td>26</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>9月</td><td>26</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><td>10月</td><td>25</td><td>3</td><td>1</td></tr> <tr><td>11月</td><td>26</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>12月</td><td>27</td><td>2</td><td>4</td></tr> <tr><td>1月</td><td>23</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>2月</td><td>23</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>3月</td><td>25</td><td>3</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> <p><b>【就労継続支援(B型)事業】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数</th> <th>入所者数</th> <th>退所者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>20</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>5月</td><td>21</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>6月</td><td>21</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>7月</td><td>22</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>8月</td><td>22</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>9月</td><td>22</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>10月</td><td>23</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>11月</td><td>23</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>12月</td><td>24</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>1月</td><td>26</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr><td>2月</td><td>26</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>3月</td><td>25</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>		利用者数	入所者数	退所者数	4月	37	11	1	5月	36	2	5	6月	33	2	2	7月	32	1	6	8月	26	0	0	9月	26	0	4	10月	25	3	1	11月	26	2	1	12月	27	2	4	1月	23	0	1	2月	23	1	1	3月	25	3	0		利用者数	入所者数	退所者数	4月	20	0	0	5月	21	1	0	6月	21	0	0	7月	22	1	0	8月	22	0	0	9月	22	0	0	10月	23	1	0	11月	23	0	0	12月	24	1	0	1月	26	2	0	2月	26	0	2	3月	25	1	1	<p>平均利用者数は、定員30名対し28.3名であった。</p> <p>年間就労者数は、12名(うち知的11名、精神1名)であった</p> <p>就労援助センターやネットワーク事業の関係機関と連携した就労支援が奏功しており評価できる。</p> <p>新規利用者7名を受け入れ、平均利用者数も安定している。</p> <p>生活支援センターや福祉事務所等との連携により利用者の出勤率アップに努めた。</p> <p>また個々の作業種目の拡大を努め、前年を上回る平均工賃達成したことは評価できる。</p> <p>また、1名が就労に結びついたことも評価できる。</p>
	利用者数	入所者数	退所者数																																																																																																							
4月	37	11	1																																																																																																							
5月	36	2	5																																																																																																							
6月	33	2	2																																																																																																							
7月	32	1	6																																																																																																							
8月	26	0	0																																																																																																							
9月	26	0	4																																																																																																							
10月	25	3	1																																																																																																							
11月	26	2	1																																																																																																							
12月	27	2	4																																																																																																							
1月	23	0	1																																																																																																							
2月	23	1	1																																																																																																							
3月	25	3	0																																																																																																							
	利用者数	入所者数	退所者数																																																																																																							
4月	20	0	0																																																																																																							
5月	21	1	0																																																																																																							
6月	21	0	0																																																																																																							
7月	22	1	0																																																																																																							
8月	22	0	0																																																																																																							
9月	22	0	0																																																																																																							
10月	23	1	0																																																																																																							
11月	23	0	0																																																																																																							
12月	24	1	0																																																																																																							
1月	26	2	0																																																																																																							
2月	26	0	2																																																																																																							
3月	25	1	1																																																																																																							
評価項目	平成20年度管理運営の状況	評価及び指導																																																																																																								
(3) 収支状況																																																																																																										
① 収支状況	<p>ア収入の状況 <span style="float:right">単位:円</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>就労支援</th> <th>福祉</th> <th>施設整備</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,818,783</td> <td>83,397,918</td> <td>0</td> <td>101,216,701</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ支出の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>就労支援</th> <th>福祉</th> <th>施設整備</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17,605,282</td> <td>76,337,056</td> <td>0</td> <td>93,942,338</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ収支の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>就労支援</th> <th>福祉</th> <th>施設整備</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>213,501</td> <td>7,060,862</td> <td>0</td> <td>7,274,363</td> </tr> </tbody> </table>	就労支援	福祉	施設整備	計	17,818,783	83,397,918	0	101,216,701	就労支援	福祉	施設整備	計	17,605,282	76,337,056	0	93,942,338	就労支援	福祉	施設整備	計	213,501	7,060,862	0	7,274,363	<p>平成18年10月から指定管理委託料収入ではなく、訓練費等給付費収入による運営を行っている。</p> <p>就労支援事業における収支マイナスからプラスへ転じ、安定した事業運営が図られていることは評価できる。</p>																																																																																
就労支援	福祉	施設整備	計																																																																																																							
17,818,783	83,397,918	0	101,216,701																																																																																																							
就労支援	福祉	施設整備	計																																																																																																							
17,605,282	76,337,056	0	93,942,338																																																																																																							
就労支援	福祉	施設整備	計																																																																																																							
213,501	7,060,862	0	7,274,363																																																																																																							
(4) その他																																																																																																										
① 利用者からの意見・要望等への対応	<p>苦情等については、施設長を苦情解決責任者、生活指導員1名を苦情受付担当者とし、対応にあたっている。</p> <p>また、川崎市障害者関係施設事業協会の苦情解決委員会に第三者委員を委託しているほか、法人にも第三者委員(法人監</p>	<p>日常業務の些細な要望・苦情を記録し、事実関係と今後の対策を職員間で議論するなど施体制として適切に対応していることは評価できる。</p>																																																																																																								

	事及び大学准教授各1名)を設置し、定期的に苦情解決委員会を開催している。	
② 個人情報の保護	<p>昨年度同様、「社会福祉法人電機神奈川福祉センター個人情報保護規定」により個人情報の保護に努めている。</p> <p>利用契約時に、利用者の個人情報の定義と関係機関において情報交換を行う範囲を規定した書類を提示し、本人及び身元引受人の署名をもらっている。</p> <p>また、企業実習・求職活動における身上書等については、本人及び身元引受人の承認を得ている。</p>	個人情報の取り扱いについて施設及び法人全体として慎重に行っていることは評価できる。

### 3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

厳しい経済情勢の中、就労者数・月平均の売上とも前年度を下回ったが、事業の積極的な取り組みの結果、利用者の平均工賃は全年を上回るなど全体としては評価できる。

また、平成20年2月からスタートした相談支援事業は年間を通じた活動となり、区自立支援協議会では事例発表等を行うなど関係機関への啓発も行き、連携強化にも努めている。

### 4 来年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

川崎市障害者就労支援ネットワーク事業に積極的に参加しており、福祉・教育・労働の各分野に実務者で構成するコーディネート会議の運営において、引き続き就労移行の先駆的事业所として他の事業所及び関係機関との連携強化を図る取り組みを望む。

生活支援センターについて、事業所利用者に限定することなく、引き続き、地域に開かれた利用に努めるよう望む。


今  
発  
内的な  
が  
応

な  
、  
行  
イ  
ま  
こ  
、

積  
の  
也  
、  
質  
り組  
目の  
極  
で

心  
対  
が  
評

に  
ハ、  
一定  
き

務  
出  
に  
を  
た

里  
等  
て  
は  
定  
こ

青  
寸  
設  
る  
こ

て  
に